

社会支出と社会保障給付費

奄美地方からゆっくり北上した台風5号は、7日午後に和歌山県に上陸した後、石川県沖から日本海沿岸を北上し各地に大雨を降らせました。夏の全国高校野球選手権大会も台風の影響により、開会식을1日順延し8日に開幕しました。全国3839校の頂点に立つのはどこでしょうか。出鼻をくじかれた大会となりましたが、これから試合が順調に進むことを祈りたいと思います。

安倍首相は8月3日に内閣改造と自民党役員人事は行ない、第3次安倍第3次改造内閣が発足しました。私は、小渕優子衆議院議員とともに自民党組織運動本部長代理に指名されました。山口本部長とともに組織活動を強力に進めて参りたいと思います。

さて、国立社会保障・人口問題研究所は今日1日、2015年度の「社会保障費用統計」をとりまとめ、公表しました。

「社会費用統計」は、年金、医療保険、介護保険、雇用保険、生活保護等の社会保障制度に関する1年間の支出をまとめたもので、OECD（経済協力開発機構）基準による「社会支出」と、ILO（国際労働機関）基準による「社会保障給付費」の二通りの基準に従い集計したものです。

社会支出は、施設整備費など直接個人に渡らない支出を含めたもので、その総額は119兆2,254億円、前年度に比べて2兆7,079億円、2.3%の増額となっています。また、社会保障給付費の総額は114兆8,596億円、前年度に比べ2兆6,924億円、2.4%の増額となっています。これを国民1人当たりで換算すると、社会支出は93万8,100円、社会保障給付費は90万3,700円と、それぞれ約2万円強の増加となっています。

社会支出の最も大きい政策分野は「高齢」で55兆3,549億円、次いで「保健」が41兆884億円となっていて、この2分野だけで全体の8割を超え、全体への寄与度が高く伸びを牽引する要因となっています。また、社会保障給付費を部門別に見ると、「年金」が54兆9,465億円で総額の47.8%を占め、次いで「医療」が37兆7,107億円で32.8%、「福祉その他」が22兆2,024億円で19.3%となっています。

社会支出、社会保障給付費を対GDP比で見ると、対前年度のGDPの伸び率が2.8%と、それぞれの伸びを上回ったことから、支出、給付費とも3年連続で下落する結果となりました。

一方、社会保障給付に対応する、社会保険料や公費負担などの「社会保障財源」は総額123兆2,383億円で、保険料収入や公費負担は増加したものの資産収入が減少したことから、前年度に比べて14兆84億円の減少となりました。

団塊世代の全てが75才を迎える2025年に向けて、更なる経済成長を図ることにより、安定した社会保障体制を維持していくことが重要となっています。